



令和6年度福岡市委託事業

福岡市発 カーボンゼロ商品創出支援 公募要綱（二次公募）

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター



事業の目的

カーボンニュートラルへの世界的な意識の高まりで、拡大する脱炭素市場は中小企業に大きなチャンスとなっています。

本事業は、福岡発のカーボンゼロ商品の開発を支援することによって、市内中小企業の競争力強化を図るとともに、脱炭素化に向けた取組みの啓発を行うことにより、脱炭素経営の裾野拡大を図ることを目的とします。

事業の対象者

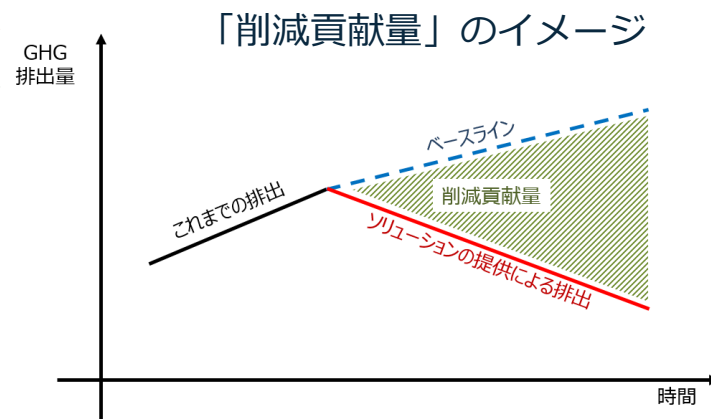
以下の条件に該当する者

- ・福岡市内に拠点を有する中小企業（みなし大企業のぞく）
- ・カーボンゼロ商品・サービスの開発を目指している者
- ・本事業年度（令和6年度）内での開発完了※を見込んでいる者

※年度内での開発完了と年度末の成果報告会での発表を基本としますが、複数年にわたる開発計画を申請いただくことも可能です。その場合、成果報告会ではその時点での成果をご報告いただきます。

上記に該当しかつ支援を希望する商品・サービス開発が以下のいずれかに該当する者

- ・商品・サービスのScope2の排出量をゼロにすることを旨とするもの
- ・商品・サービスのScope1,2の合計排出量を削減（目標値50%以上削減）することを旨とするもの
- ・商品・サービスのScope1,2,3（上流）の合計排出量を削減（目標値50%以上削減）することを旨とするもの
- ・商品・サービスが既存の類似品に代替されることで大きな排出削減貢献（量）が見込めるもの



Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

審査の基準

●審査基準・募集件数

- ・以下の点を中心に審査し、2件程度を選定します
 - I 希望する取組の妥当性
 - II 取組の意義及び社会的インパクト
 - III 温室効果ガス排出削減手法の妥当性
 - IV 開発製品・サービスの市場性
 - V その他

支援の内容

●開発にあたり 5～7 回程度専門家を無料で派遣します。

→商品コンセプト設定、事業経済性の分析、商品開発計画の策定、GHG排出量削減等、本事業で取組む商品・サービスの開発に必要と考えられる専門家を選定し派遣します。

→現状及び開発課題の把握から適切な専門家の選定及び開発の進捗等、事務局が貴社に伴走して支援します。

●開発した製品・サービスは案件に応じて福岡市が販路拡大を支援します。

→福岡市トライル優良商品認定事業※

※福岡市内中小企業が販売又は提供する優れた新製品・新サービスを福岡市が認定し、PR等を通じて販路開拓を支援するもの

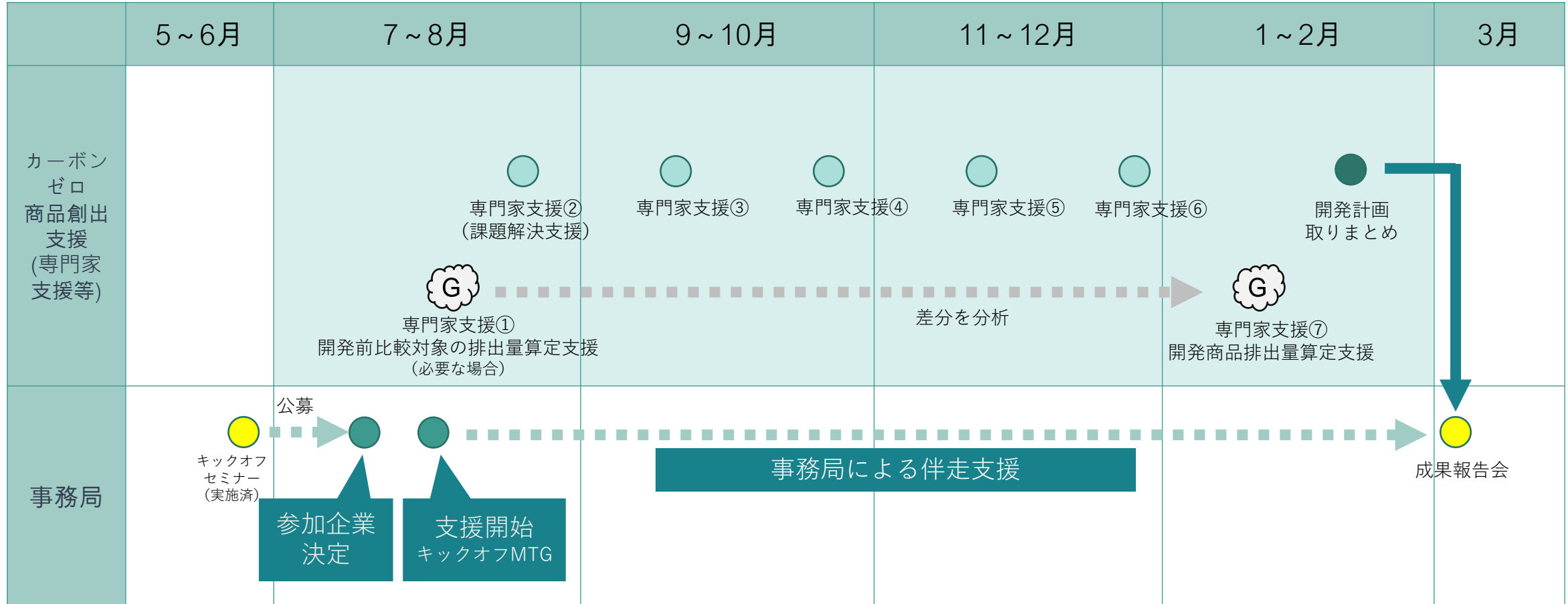
→mirai@(ミライアット)※

※民間事業者と福岡市をつなぐワンストップ窓口。公民連携のハブとして、提案受付、サポート、情報提供・情報発信等を一元的に
行い、関係部局等と連携しながら、民間提案の実現をサポートするもの

→その他外部連携機関による支援のご紹介

事業のスケジュール

※下図は専門家派遣を7回実施した場合の例示であり、参加企業の状況により内容は異なります。
また、これ以外にも連携機関による専門家派遣を受けられる場合があります。



問合せ先

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
九州環境エネルギー産業推進機構 (K-RIP)

TEL:092-474-0042

info@k-rip.gr.jp

担当： 嶋田